

平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査



かけがわの子どもたち

掛川市教育委員会

掛川市では、「夢に向かって、自ら考え自ら判断し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」を目指して、健康教育と体力・たくましさの育成に重点を置いています。

本年度実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査について、掛川市の集計結果をお知らせします。全国平均・県平均を 100 として、指標値により示しました。



実技に関する調査結果

【小学校5年男子】

※持久走と 50m 走については、タイムの速い方が良い結果であるため、数値を逆にして計算しています。

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	97	102	101	106	108	100	103	100	103
県比較	98	102	104	104	104	100	102	105	102

【小学校5年女子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	97	101	101	104	106	100	103	108	103
県比較	98	101	103	102	99	100	101	107	101

【中学校2年男子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	100	101	106	102	102	101	101	100	102	103
県比較	101	99	105	100	100	102	101	99	99	101

【中学校2年女子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	102	105	107	101	104	110	103	102	106	106
県比較	102	102	104	98	101	108	102	99	101	101

調査結果全体から見えてきたこと

- 運動能力の6種目（反復横跳び、シャトルラン、持久走、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ）の全種目において、小5・中2ともに男女どちらも全国平均を上回っており、掛川市内の子どもたちの運動能力は縦じて高いことが明らかになった（2年連続）。
- 掛川市では、県で課題とされたボール投げの結果において、小学校5年、中学校2年の男女ともに全国平均を上回った（2年連続）。
- 児童生徒に対する質問紙調査では、「運動が好き」と答えた児童・生徒の割合が、小5、中2の男女すべて全国や県を上回った。
- 一週間の総運動時間（月～日）は、小5、中2の男女すべて全国や県を上回っており、特に中学校2年女子の割合が高かった。掛川市の子どもたちは、全国や県に比べ、日常的に運動する習慣があることが明らかになった。
- 「体育（保健体育）の授業は楽しい」と答えた児童・生徒体育の割合が、小5、中2の男女すべて全国や県を上回っており、特に中学校2年男女ともに高かった。掛川市では、子どもたちにとって体育（保健体育）の授業が充実したものになっていることがわかった。
- △「握力」において、小学校5年で男女ともに全国・県の平均値に届かなかった。



体力の高い子 かけがわの法則

「実技に関する調査」と「質問紙調査」の相関関係を分析すると、次のような子どもの体力合計点が高い傾向にあります。

- ①運動が好きである（小学校5年男女、中学校2年男女）。
- ②毎日決まった時間に夕食を食べる（小学校5年男女）。
- ③毎日決まった時間に朝食を食べる（中学校2年男女）。
- ④家の人と一緒に運動やスポーツを週1回以上する（小学校5年男女）。
- ⑤体育の授業で、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っている（小学校5年男女）。
- ⑥保健体育の授業で、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っている（中学校2年男女）。



今後に向けて

掛川市の子どもたちは、縦じて運動好きな子どもが多く、運動時間も確保されて、運動能力も高い結果となりました。今後も、運動能力の向上に努めるとともに、筋力や柔軟性にも対応できるように多様な遊びや運動を取り入れるなど、内容を工夫することで改善につなげていきます。また、幼児期からの運動体験も重要であることから、一昨年度より幼稚園の運動遊びを園・家庭で積極的に取り入れるアクティブ・チャイルド・プログラムを展開・充実し、遊びを通して運動好きの子どもを育てるよう取り組みます。

さて、ラグビーワールドカップ 2019 の試合会場の一つに、静岡スタジアムエコパが選ばれました。小学校では、タグラグビーを教材とした体育の授業も取り入れ始めています。今後も、地域の特色や子どもたちのニーズに合わせた効果的な取組を推進し、健康教育と体力・たくましさの育成に力を注いでいきます。